夢のつづき〔毎月１日発行〕／第34巻第11号／通巻第356号・令和8年2月1日発行
平成4年10月2日第三種郵便物認可・年間購読料1,700円（郵便料共）

させぼ夢大学
発行●公益社団法人 させぼ夢大学
編集委員会
事務局／〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル３F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
https://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp
開催ご案内 25-9556

夢のつづき

させぼ夢大学会報

No.356〈2026・2〉

令和７年度〔第34期〕最終号

令和7年4月16日㈬
村田 晃嗣氏
テーマ●激変する国際情勢と日本の課題

令和7年5月17日㈯
丸田 佳奈氏
テーマ●もう中高年！ どうやって生きる？
～老害なんて呼ばせない～

令和7年6月18日㈬
二所ノ関 寛氏
テーマ●我が相撲道に一片の悔いなし

令和7年7月16日㈬
菊池 桃子氏
テーマ●人生が楽しくなる大人の学び方

令和7年8月20日㈬
神田 紅氏
テーマ●大声と笑いで生きる明日への活力

令和7年9月17日㈬
青山 和弘氏
テーマ●テレビでは話せない
政治の舞台裏

令和7年10月15日㈬
市毛 良枝氏
テーマ●介護における自然の大切さ

令和七年度
ご登壇頂いた講師の方々

令和7年11月21日㈮
金谷 俊一郎氏
テーマ●幕末の偉人たちに学ぶ

令和7年12月20日㈯
秋川 雅史氏
テーマ●夢のある人生
～トーク＆ミニライブ～

令和8年1月21日㈬
杉村 太蔵氏
テーマ●プライドを捨てた男の人生訓

2
2026

杉村太蔵 氏

三行感想文 夢のとびら

■「夢のひろば」と「講演会」のセット。楽しみ２倍で、感動も２倍です。させぼ夢大学ならではの特長ですね。
　今回も、津軽三味線の音色と、杉村さんの愉快なトークに大満足。ルンルン気分で帰路に就きました。
佐世保市山手町●谷岡　久美

■「佐世保の皆さん」で始まった杉村講師の話は、すごく明るくテレビで見るままの印象でした。
　「薄口評論家」とは初めて聞いたのですが、話の内容はとても薄口とは思えず、終始笑いの絶えないお話でした。やはり政界にまで行った人は、違うなと感激しました。
佐世保市小島町●髙増　香里

■会場を笑いの渦にした政治の話。聴いたことのない裏話や人物評を、ユーモアたっぷりで話していただき、あっという間に時間が過ぎました。元気をもらい、笑顔をもらった講演でした。
　本年度最終回のお話を、笑顔で終えることができたことを感謝します。ありがとうございました。
佐世保市大宮町●田中　美禰

■杉村さんのトークのテンポの速さに脱帽！　頭がよい証拠でしょうね。次から次へと言葉があふれ出て、笑顔でユーモアたっぷりに話される姿に圧倒！
　内容も抜群！　自分の失敗談を恥じることなく、みんなに披露し、笑いをとる手法は、私もまねしてみたくなりました。一躍、杉村さんのファンになってしまいました。
佐世保市針尾町●松村　倉太

■自分が経験した政治の世界を、面白おかしく紹介していただいた中で、よいリーダーとは？と話があった。
　常にご機嫌で、ユーモアをもつこと。やってみてと言われても、すぐにできることではないが、その結果として人間関係をよくできることにつながると気づかされた。また、木だけ見るのではなく、森を見る大切さを教わった。
佐世保市潮見町●山田　毅

■杉村太蔵さんのスピーチは、元気で明るく飽きることがなかった。派遣社員から最年少国会議員へのシンデレラボーイという異例のキャリアを歩んできた杉村さん。逆境を乗り越え、寿司屋のガリ的存在で、究極の隙間産業を歩み、ご機嫌であれば、人や情報・知識・金が集まってくる。
　その人物像は、一見「お調子者」に見えながら、実は極めて高い自己プロデュース能力を兼ね備えた「戦略家」と感じました。
佐世保市東浜町●碇屋　秀俊

■本日の「夢のひろば」の津軽三味線。三味線の音色が心に沁み渡り、清々しい気持ちになりました。舞台のお花と相まって、新春を感じながら講演会を聴講しました。
　講演会が始まるとすぐに、「写真を撮っていいですよ」と話され、元気いっぱい、ユーモアたっぷりの方でした。最後のお話にあった、自分自身を見つけることができなかった方のことを通じ、努力を惜しまず、前進を続ければ、そこに答えがあることを学びました。
佐世保市赤崎町●木村　典子

■生の津軽三味線。低く響く迫力。
　初めて見て、初めて聴いた津軽三味線に感動しました。木下さんの撥さばきのすごいこと。目が回るくらいの速さで、右手で撥を動かし、左手で弦を押さえる姿は、もう熟練の技と言えるものでした。
　佐世保でも、教室を開いておられるとのこと。習う勇気はありませんが、また見てみたい、聴いてみたいという興味が湧いてきました。津軽三味線の「ベベン」「ドン」「バチバチ」という音が、耳に残ったままの私です。
佐世保市大宮町●町田　善樹

■「夢のひろば」での素晴らしい津軽三味線。心に響く音色を聴いた後は、本日の講師 杉村太蔵氏。底抜けに明るく人間味あり、人を惹きつける方でした。話もわかりやすく、時間を忘れて聴き入りました。杉村さんが話されることは、何でも許されるような魅力ある方でした。
　今日学んだことは、“常に機嫌よく”。
　自分を省みると、１日どれくらい機嫌がよいだろうか、難しいところです。今からの自分自身の課題です。今日より、心を明るく機嫌よく生活していきたいと思っています。
佐世保市陣の内町●井手　孝広

■令和７年度も、させぼ夢大学の学生として、無事修了。10回のうち、用事で１回お休みしましたが、出席率９割で合格をいただけるのではないかと思っています。
　令和８年度、どうしようか迷いました。というのも、土曜・日曜の開催が多く、別の習い事と重なっているからです。しかし、秋川さん、杉村さんの講演が特におもしろく、ためになり、ここに来なくては駄目だと痛感しました。習い事は、曜日を変えるなりして、工夫し、また多くの講師から、考え方や生き方を学ばせていただこうと思っています。来年度も、よろしくお願いします。
佐世保市江迎町●桜田　倫代

■現在までの挫折と失敗の経験談を、ユニークに大きな声で話された杉村さん。あのフレンドリーな雰囲気に、自然と親しみを覚えました。あのエネルギッシュな力は、どこから生まれてくるのでしょうか。
　若さからだけではなく、これまでの人生の道で、出会われた人たちから習得し、それを自分なりに消化し、努力なさって杉村太蔵らしさを醸し出されたのだと感じます。感情の豊かさあり、笑いありで、もっともっと聴きたい興味深いお話でした。話の中で、「佐世保」を連呼していただき、より親近感が生じ、いっぱいエネルギーをいただき、感動しました。
佐世保市大黒町●平野　千代子

■「スマホの電源はお切りください、写真撮影・録音もご遠慮願います」のアナウンスの直後、登壇された杉村太蔵さん。「遠慮はいりませんよ」とユーモアたっぷりに笑いを誘い、出だしから爆笑の連続。すっかり太蔵さん（と呼ばせていただきます）に親近感を抱きました。
　寿司を例えにして、自分は“ガリ”の役目、究極の隙間産業であると、またまた爆笑の渦。テレビのレギュラー番組を７本お持ちとおっしゃっていましたが、翌日の午後２時には、“政治評論家”の肩書で出演されていました。幅広く活躍される太蔵さんにエールを送りたいと思います。
佐世保市もみじが丘町●山川　芳香

機嫌よく生きる!
挫折を乗り越えた男の人生訓

プライドをもった男の人生訓

佐世保市大潟町　石川　史子

「太蔵さん、ごめんなさい。」

私は、ずーっと誤解していました。〝薄口評論家〟とも言われ、それを恥ずかしがらずに名乗る太蔵さんを見て、こういう軽いノリのキャラクターの人もいるのだなあと思っていました。

ところが、今回の講演会で、太蔵さんの印象がガラリと変わりました。話し方にゆとりとユーモアがあり、話の内容も自虐ネタや失敗談をふまえ、私たちの生き方の参考となるものばかり。芯のある方だなあと痛感！　聴衆を見ながら、ノー原稿で話す姿に、元々の才能もありながら、さすが元政治家と感じました。現在、衆議院や県知事の選挙活動の真っ最中ですが、太蔵さんなら十分できると改めて思いました。でも、やっぱり今のままでいてほしい。毒々しい政治の世界に戻らないでほしいと願っています。

私が、太蔵さんの話で一番感銘を受けたのは、人に話を聴かせる時には、成功談・自慢話ではなく、自分の失敗談を話した方が、相手に伝わりやすいということでした。一つの話を3分にまとめること。原稿用紙1枚で1分となるので、原稿用紙3枚分書くこと。そうすると、相手も興味をもって聴くということ。このように、時間の設定や書き方の指導までしていただきました。

今回のテーマは、「プライドを捨てた男の人生訓」。

しかし、男〝杉村太蔵〟のプライドをもった人生訓でした。

失敗はいつかチャンスに変えられる

佐世保市ハウステンボス町　松井　昭夫

働いて、働いて、働いて、働いて：解散、総選挙ですか？

前回の衆議院選挙から、1年と3か月。議員の先生方は、前回の「公約」に取り組めたのだろうか？　知事や市長が、任期途中で辞職？

日本の将来は大丈夫だろうかと新年早々不安を抱えながら、今回の講演会を迎えた。杉村氏は登壇するや否や、「写真をどうぞ！　SNSオッケー！」と主催者側がびっくりする発言。我々も驚くやら嬉しいやらで、一気に杉村ワールドに引き込まれてしまった。

内容は、学生時代の挫折から派遣社員、国会議員、さらに落選して、無職からタレントに転身したことなど、自身の経験を中心に語られた。これまでの人生、決して平坦な道のりではなかった。多くの失敗を重ね、何度も挫折してきたが、その都度、悩み、苦しみ、様々なことに挑戦し、多くの人たちに出会い、支えられ、自分なりに答えを出してきたのだと、笑いを取りながら明るく語った。求められた課題は徹底的にやる。チャンスは決して逃さない、という彼の揺るぎない信念がひしひしと伝わってきた。機内での苦情に対応した客室乗務員の機転の利いた行動には、仕事をすることの素晴らしさに気づかされた。レジ打ちの少女のお話には、心を打たれ、拍手を送った。

今回の講演は新春にふさわしく、笑いあり、感動ありで、杉村氏の正直で真摯な生き方に学ぶものが多々あった。一陣の風が通り抜けたように感じた。

1月 夢のひろば　木下恒存「津軽三味線」

いつも機嫌よくありたい

佐世保市大和町　新北　博美

「料亭に行きたい！」国会議員当選後すぐの奔放な発言！　なんて人が国会議員になったんだろう、と思ったことを今でも覚えています。

今回の講演で初めて、非正規労働者として実際に働いていたという杉村さんの経歴を知りました。労働環境の実情、その気持ち等を身をもって体現され、その中でも、〝自分が掃除したトイレで寝ることができる〟と自負できるくらい磨きあげていたという体験。その働きぶりと、にじみ出る明るさで、証券会社からのスカウトがあったのでは？と想像します。人口減少や過疎地の問題、若年層の雇用問題にも取り組まれているとのこと。杉村さんのお人柄で、周りには人が集まり、情報・知恵が集まり、資金が集まってきそうと感じます。今後の活躍に注目したいと思いました。

90分間、飽きることなく話に引き込まれ、嫌味のない、まさに人が寄ってくるようなコミュニケーション能力をもっている方だと思いました。

薄口政治評論家…。口調は薄い感じでも、ただ薄口だけでない芯の通った人なのかもと思えました。

トイレ掃除から学ぶ

佐世保市原分町　小山　高直

「なめられるくらい、ピカピカにしておきました！」

杉村太蔵氏が大学中退後、派遣社員として働いた清掃員時代の言葉である。トイレ掃除を終えた際、こういう言葉を自信をもって言えたことが驚きである。

たかがトイレ掃除と思わず、されどトイレ掃除と思う信念。嫌々仕事をするのではなく、いかにして目の前の便器をピカピカにするかを突き詰めた。一つ一つの確かな動きが、後の異例の抜擢へとつながった。

近くの地域でも、昨年秋、中学校でトイレ掃除の体験活動が行われた。生徒は、最初やる気満々ではなかったと聞くが、終わる頃には全員笑顔になっていたという。「人にしてあげる幸せ」を実感できた瞬間であった。

世の中、何が転機になるかわからない。運をつかむのも実力のうち。きっと杉村さんの信念が、自らをよい方向へと導いたと言ってもいいだろう。

この1年、させぼ夢大学の講演会に参加し、10人の講師の考え方・生き方にふれ、大いに勉強になった。自分の人生を豊かにするきっかけになればと思い、参加したが、それぞれの講師も、山あり谷ありの頃があり、同じ人間として共感できるものがあった。

これからも、トイレ掃除等、人の嫌がることでも進んで行い、人の役に立つことを行いながら、人間力をさらに磨いていきたい。

夢のつづき（毎月1日発行）／第34巻第11号／通巻第356号・令和8年2月1日発行
平成4年10月2日第三種郵便物認可・年間購読料1,700円（郵便料共）

令和8年度（2026年度 第35期）講演会予定

4月4日(土) 14:30～16:00
宇宙飛行士・日本科学未来館名誉館長
毛利（もうり） 衛（まもる）氏
『宇宙から見た地球生命のつながり』

4月29日(水・祝) 14:30～16:00
元 プロ卓球選手・卓球金メダリスト
水谷（みずたに） 隼（じゅん）氏
『打ち返す力』

©Kudo Yuki

5月9日(土) 14:30～16:00
ものまね漫談
山田（やまだ） 邦子（くにこ）氏
『大丈夫だよ、がんばろう！』

5月24日(日) 14:30～16:00
元 大阪府知事
橋下（はしもと） 徹（とおる）氏
『次世代のために　今できること』

6月20日(土) 14:30～16:00
東京大学薬学部教授
池谷（いけがや） 裕二（ゆうじ）氏
『脳はこんなに悩ましい
～脳を知り、脳を生かす～』

7月11日(土) 14:30～16:00
作曲家・ピアニスト・指揮者
青島（あおしま） 広志（ひろし）氏
『青島広志のおしゃべりコンサート』

©Kohji Hakamada

8月8日(土) 14:30～16:00
コメンテーター・元 衆議院議員
金子（かねこ） 恵美（めぐみ）氏
『働き方革命！ 輝く女性が日本を救う』

写真提供：草思社

8月29日(土) 14:30～16:00
明治大学文学部教授
齋藤（さいとう） 孝（たかし）氏
『50代からの“教養”格差』

※ 講師の都合や天災、その他不測の事態により、開催日時の変更や延期、または講師を変更して代替開催する場合があります。

事務局だより

★入学資格を拡大します！

「高校1年生の孫と一緒に、入学したいのですが？」

現受講生の方から、このようなお尋ねがありました。

現在、させぼ夢大学では、入学資格を「18歳以上」と制限しており、チラシ等にもその旨記載しています。

冒頭のお尋ねを受け、協議したところ、保護者（親・祖父母等）がまず受講生であり、同伴であれば、18歳に達していない高校生も入学可にすることに資格を拡大しました。

させぼ夢大学の講演内容は、各分野の専門的な方が講師であるため、将来がまだはっきり固まっていない高校生にとっても、たいへん参考になる講演と考えています。同時に、高校生と保護者との参加についても、望ましい参加のあり方と考えています。

現受講生の皆様におかれては、ご家族等に高校生がおられましたら、一緒の参加ができないか検討していただければ幸いです。併せて、他の方々にも、「入学資格の拡大」について、お知らせくださいますよう、お願いします。

なお、大人・高校生に関係なく、受講料は同じであることをご了承ください。

★申込み期限（2月13日）が、迫っています！

現受講生の皆様、令和8年度の講演会の申込み（受講料納入）は、お済みでしょうか。

この「夢のつづき」がお手元に届く頃は、最終の申込み期限（2月13日）の少し前あたりになります。

まだの方においては、電話でも構いませんので、期限までの申込みをよろしくお願いします。

また、「学生証（カード）」の郵送も、同じく2月13日に予定しています。受講料を早めに納入された方々からお送りしますので、それまでしばらくお待ちください。

★感想文のお礼です。

令和7年度も、させぼ夢大学の会報「夢のつづき」に、多くの感想文をお寄せいただき、ありがとうございました。

毎月の編集会議では、投稿された方々の思いや考えに、「なるほど」「すごい」という声がたくさんありました。それぞれの感想文には、書いた方ならではの味わいがあり、勉強になるものばかりです。

ただ、無記名や匿名・通称で投稿され、掲載できなかった感想文も少々ありました。投稿の際は、必ず記名をお願いします。

今後も、皆様の感想をお聞かせいただき、より親しまれる会報づくりを目指します。令和8年度も、感想文のご投稿をよろしくお願いします。